

学園綱領
人間たれ

Spring 2025

Newsletter

GAKUEN

AKATSUKI



暁学園報
vol.260

中高 ラーニングコモンズ 完成
大学 Maxマート オープン

卒業生へのメッセージ



暁学園理事長

喜岡 渉

春休み、鶴舞公園へ

出かけてみよう



ご卒業・進級おめでとうございます。卒業生の皆さんは、進学先や就職先が決まっている人、もう一年、頑張ってみようと思った人、それぞれ学園を離れていろいろな未来への道を歩んで行くこととなります。ちなみに、大学と高校の卒業式は、米国、英国の一部の学校ではCommencement（開始、始まり）と呼ばれます。皆さんのBon Voyage（よき旅、よき船出）を願っています。そして学園生活最後の春休みは、思い切り心身ともにリフレッシュしてください。人の体、恐らくメンタルも、鍛えている時ではなく、休ませて回復させている時に筋力がアップし、ストレス耐性も強化されます。学力も同様に緩急をつける方が効果的です。

そんなリフレッシュメントにお薦めなのが名古屋市の鶴舞公園です。JR名古屋駅から中央線で2駅目、近鉄富田駅からは約1時間で着きます。JRや地下鉄の駅名、郵便局、町名は鶴舞「つるまい」と読みますが、バス停や公園名、付近の図書館や小学校は鶴舞「つるま」と表示されています。名古屋の学生が古文書を使って調査したことがありますが、読み方の違いは依然として謎です。JR、地下鉄の両駅からは、南へ公園を縦断して進むと、昨年11月にオープンした国内最大規模のスタートアップ支援拠点STATION Aiの特徴的な建物が目に入ります。途中、ツルマガーデン・エリア1にはカフェ、レストラン、テイクアウトの店が回廊状に配置されており、ランチにうってつけです。

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）拠点校の名古屋国際中学校・高等学校が昨年12月に開催した「高校生国際会議」には、STATION Aiが会議場に使われていましたので、この会議にオブザーバー参加のためSTATION Aiを訪れた中高の生徒もいるのかもしれませんが。この施設は学生や社会人の起業家を育成するためのもので、起業の際の資金調達や人材の採用など段階に応じた支援プログラムが用意されています。トヨタ自動車、中部電力など東海圏のものづくり企業、金融機関、大学など200社余りが起業を支援するパートナー企業として参画、オープンイノベーションにより新たな事業やサービスを創出する仕組みをツルマにつくろうとしています。スタートアップの会員専用ゾーン3～6Fは自由に入れません、1・2Fと最上階7Fは一般開放ゾーンになっています。各階は、らせん状のスロープでオープンにつながっており、1・2Fからもイノベーションの鼓動を感じとれるかもしれません。

文化の港から世界へ

四日市大学 学長 喜岡 渉

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

学歌「光と風と」には「歴史は宿る文化の港」「世界に開け文化の港」四日市大学とあります。願わくは、文化の港で多様な知、それを集結した総合知を身に着け、多様な知の受容力、異分野への強い好奇心をもって、地域社会の一員であると同時にグローバルシチズンでもあるという意識を大切に、新しいそれぞれの活躍の場へ出航されんことを期待しています。

今、私たちの社会はAI、IoT、ビッグデータなどの急速な技術革新によって情報社会への大転換期の中にあります。RPAと呼ばれるソフトウェアロボットによる業務プロセスの自動化は、今後あらゆる分野でさらに急速に進むでしょう。同時に、持続可能な社会の実現、そして人々が多様な幸せ(well-being)を得ることができる社会の実現、という社会要請もますます大きくなってきます。この複雑でグローバルな課題解決はAIだけではできません。

これまでの常識や慣習を乗り越える新たな総合知が必要で、総合政策・環境情報を学んだ皆さんが果たすべき役割は大きいと考えます。地球温暖化・カーボンニュートラルなどのGX、スマート社会実現のためのDXについては、その社会課題の抽出と科学技術の社会実装には総合政策学部の卒業生、社会課題の科学技術上の解決策には環境情報学部の卒業生の相互補完的な協働が不可欠です。

特に両学部とも、平常に戻った後半2年の専門学習で養われたコミュニケーション力と今ないものを考え出すデザイン力は、社会に出た後でも課題解決能力、人とのつながり力、提案力などに遺憾なく発揮されるはずで

二十一世紀を切り拓け!

私が学長に就任したのが約4年前、今年度の卒業生のみならずとともに本学の一員となりました。当時はまだコロナ禍が始まって1年余りでしたが、先が見えない中でキャンパスライフも手探り状態でした。

1年生の課程が終わろうとした頃にウクライナ戦争が始まり、その後イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への攻撃が激しさを増し、世界の情勢が緊張に向います。これを反映するかの様に昨年はわが国はじめ世界の政治指導者の交代が相次いで決まりました。また元日に能登半島地震が発生、関連死を含めると500名を超える方が亡くなりました。環境に係る健康問題としてフッ素有機化合物PFASによる水質汚染、マイクロプラスチックによる海洋汚染の影響が人体にまで及び始めたことも注目され、未知の健康障害発生への警戒の声があがっています。

四日市看護医療大学 学長

柴田 英治

様々な面で不安ばかりが膨らむように感じられるかも知れませんが、古今東西人々は不安とともに希望を持って前に進みました。時代の状況を把握し、連携協力し、励まし合いながら幾多の困難を乗り越えてきました。現代に生き、医療を志すみなさんは世界への視野を持ちながらも身近な人々の健康状態や心身が抱える問題点をとらえ、何ができるかを考えることが大切です。みなさんの力の源は本学で身につけた医療職としての専門性と学友、教員、臨地実習でお世話になった患者さんなどとの交流から豊かに育てたそれぞれの「人間たれ」の精神です。四日市から大海原へ船出する卒業生のみなさんが今世紀半ばから後半にかけての四日市・日本・世界の進路を見出すことを期待しています。



暁高等学校 校長

小林 豊昌

暁高校を卒業して、21世紀の 主人公になってください

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今年には2025年です。21世紀は2001年から2100年までの100年間ですが、今年ちょうどその四半世紀の節目となります。皆さんがこの暁高校を卒業し、やがて社会人として活躍する時代はまさに21世紀のそのものです。わたくしたちの生きる21世紀は、DXやAIなどが発展し、過去の時代には考えられないような社会へと変容する時代です。今後あらゆるもののデジタル化が進行し、人工的なコミュニケーションや人工的なシミュレーションにあふれた世界が訪れるのだと想像出来ます。そして、その時代が人間にどのような変化をもたらすのか一抹の不安を感じさせる時代でもあります。

そういう時代だからこそ、皆さんには、知識のみに偏重せず、豊かな心と自然や実体験を愛でる気持ち、他者を思いやる優しさなどを大切にしてほしいと願います。人間には数値化できない〈心〉があります。その〈心〉を大切に、皆さんが社会で活躍し、21世紀の主人公になってほしいと思います。

皆さんはいいよ卒業されますが、皆さんが暁高校で過ごした時間、暁高校で得たすべてものを大切にして下さい。21世紀を生きるヒントが、皆さんの高校時代の体験の中にあるものと確信しています。

3年間を振り返れば、皆さんとこの暁高校で共に過ごした時間は、校長として至福の時でありました。卒業に際して、新しいステージでの皆さんのご活躍を、学校長として心より祈念しています。



暁中学校・高等学校 校長

高木 達成

無限の可能性を秘めた 皆さんに期待して

卒業生の皆さんに向けてお話を二つさせていただきます。

一つ目は、世の中に関心を持ち、行動しようとする意欲を持って欲しいということです。卒業生の皆さんが本校で過ごされた6年間、コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、能登半島の地震や水害、AIの急速な発展等、様々な出来事が起きました。皆さんのこれからの人生でもそれは続いていきます。世の中で起きるすべてのことを知ることは出来ないませんが、可能な限り広く深く知ろうとする姿勢と自らがどう関わるのかを考えようとする姿勢は是非持ち続けて下さい。その姿勢があなたと世界との結びつきを強め、行動へのきっかけとなると思います。世界は、様々な社会課題に対するあなたの貢献を期待しています。

二つ目は、現状や自分の考え・価値観に固執して、自身の成長や可能性を狭めてしまわないようにして欲しいということです。未知の経験や、そこで人と直接対話をする機会を積極的に作って下さい。幅広い経験や他者の価値観や知恵から柔軟且つ謙虚に学ぶことは、あなたの人生をより豊かにすると共に、あなたが危機に陥った時の大きな支えになると思います。

卒業生の皆さんのご活躍と幸せで実りある人生を送られることを心よりお祈りしております。



暁小学校 校長
あきら
相馬 哲

人との出会いや関わりを大切に

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

6年間の思い出が詰まったこの校舎ともいよいよお別れですね。皆さんはこの6年間で、心も体も大きく成長しました。この自分の成長を心から喜んでください。そして、ご家族や多くの先生方に見守られて今があることを決して忘れないでください。

今年度の運動会は、5年ぶりにマーチングバンドが復活しました。その大役を担ってくれたのが6年生の皆さんでした。コロナ禍で音楽の時間に器楽演奏ができない年が続き、演奏する経験が乏しい中での復活でした。一人一人が頑張って努力したことはもちろんですが、休み時間を返上し、友達と声を掛け合いながら練習を重ねた姿は今私の脳裏に焼き付いています。皆さんは、友達の頑張りが自分を成長させてくれたことを身をもって感じたのではないのでしょうか。誰もがそうであるように、一人の力は微力でも人との関わりの中で人は成長することを学ん

だのではないかと思います。

これから皆さんは希望を胸に中学校へ進学します。皆さんの中には、新たな人との出会いや出来事に少し不安を抱いている人がいるかもしれません。それでも、ぜひ自分のペースでいろいろな人と関わり、いろいろなことに挑戦してみてください。そこにはきっと多くの学びや体験が待っています。ぜひ、人との出会いや関わりを大切に、新たなステージで一歩一歩着実に歩みを進めていってください。

最後に、みなさんの未来が輝かしいものになることを心から祈っています。



暁幼稚園 園長
近藤 まり

「心と心を結ぶリボン」

らいおん組のみなさん、ご卒園おめでとうございます。

みなさんは、今まで、暁幼稚園の大きいお兄さんやお姉さんとして、頑張ってくれました。みなさんのおかげで、暁幼稚園の友達も先生も、みんなとっても気持ちよく過ごすことができました。ありがとうございました。

ところで、みなさんは、ハローキティちゃんの耳にリボンがついているのを知っていますか。キティちゃんは、50年ほど前に誕生してからずっと多くの人たちに親しまれてきました。あのリボンはただの飾りとして付けられているわけではなく、大事なメッセージが込められているそうです。それは、リボンを結ぶという言葉から、「人の心と心をぎゅっと結んでみんな仲良くなって欲しい」という作った人の願いが込められています。

人は一人では生きていけません。自分の周りにいる家族や友達、先生など、いろいろな人と助け合い、支え合いながら生きています。皆さんは、これから小学校へ入学して、新しい友達とたくさん出会うことでしょう。家では家族の方々が助けてくださるでしょう。では、学校ではどうでしょう。いつも皆さんの周りには友達ではないのでしょうか。キティちゃんのリボンのように、友達の心と自分の心をぎゅっと結ぶことで、分り合える友達がどんどん増えていきます。はじめは、少し勇気があるかもしれませんが、優しい言葉(ふわふわ言葉)で、周りの人に話しかけてみましょう。きっと、新しい出会いが始まることでしょう。そして、一人では解決できないことも、友達と力を合わせることで乗り越えられることもたくさんあるはずです。

4月から始まる小学校生活では、たくさん友達を作って、楽しい小学校生活を送ってください。

\ 暁中高に / ラーニングコモンズが 完成しました

令和6年12月、暁中学校・高等学校の管理棟3階から5階にミーティングや勉強、グループ学習にも利用できる北欧デザインのラーニングコモンズが完成しました。



ラーニングコモンズとは

複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの。(文部科学省)

また、生徒玄関前には生徒が友人との談笑や休憩、飲食の場として多目的に利用できるテラスも設置する予定です。

このラーニングコモンズ、テラスの両施設は、
本学園の「教育振興未来みはるかす募金」により整備されました。

「教育振興未来みはるかす募金」へのご支援をお願いいたします

学園の教育振興を目的とした恒常的な募金事業として、本学園では「教育振興未来みはるかす募金」を実施しております。この募金によるご寄附は、ICT環境整備、図書購入など、本学園設置校の備品や設備、研究活動等に有効に活用させていただきます。本学園に集い、学び、未来を生きる多くの子どもたち、学生たちのためにご支援賜りますようお願い申し上げます。

募金名称	教育振興未来みはるかす募金
募金目的	<p>各校の教育研究活動の充実や教育環境の維持・向上のための費用に充当。寄附する学校種を選択していただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四日市大学 ・ 四日市看護医療大学 ・ 暁高等学校 ・ 暁中学校・高等学校 ・ 暁小学校 ・ 暁幼稚園
募集期間	随時
募資金額	<p>個人：1口 5千円(1口以上) 法人・団体：1口 10万円(1口以上)</p> <p>1口に満たない金額につきましても有り難くお受けいたします。</p>
寄附顕彰	<p>ご寄附いただきました方のご芳名は、学校法人暁学園「学園報」及び学園ホームページに掲載いたします。(ご了承いただいた方のみ)</p>

詳しくは
こちらから



Maxマート 四日市大学・ 四日市看護医療大学店 オープン!

令和7年1月6日(月)に、学内コンビニ移転事業として計画が進められていたMaxマート四日市大学・四日市看護医療大学店が四日市看護医療大学B館1階にオープンいたしました。

※Maxマートはマックスバリュ東海株式会社が展開する無人コンビニエンスストアです。



喜岡学長(左)と柴田学長(右)

オープニングセレモニーとして両学長によるテープカットを行い、大勢の参列者の中、開店を祝しました。初日から多くの学生で賑わい、順調なスタートを切ることができました。本学店舗は同店の中でも大型店となり、その特性を活かして商品点数はおよそ500点、文具からお菓子・冷凍食品まで揃う豊富なラインナップとなっています。また、決済方法は完全キャッシュレスとなっており、セキュリティ面では店舗外からモニターで中の様子を確認することができる防犯カメラや、入室時に学内者限定で発行される認証キーが必要なシステムを導入するなど、利用者が無人でも安心して利用できるように様々な防犯対策を講じています。



吹抜け天井とガラス壁のある明るく広々とした店舗

オープンに伴い、両大学の教育後援会様から「業務用電子レンジ」「貯湯式湯沸かし器」「食べ残し回収ボックス」をご寄贈いただきました。これにより、利便性の高い環境を学生の皆さんに提供することができています。

今後も皆様のご意見を頂戴しながら、より良い店舗にしていきたいと考えております。

四日市大学

「四日市大学環境情報学展」を開催しました

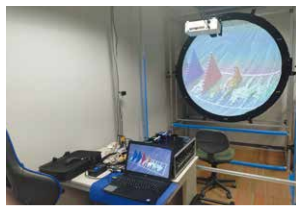
令和7年1月29日(水)・30日(木)の2日間にわたって「第25回四日市大学環境情報学展」(四環展25)を開催しました。

四環展25は、令和6年度四日市大学教育改善・改革プランに採択された「環境情報学部みんなで盛り上げる卒業研究・卒業制作」として行われたもので、これまで専攻ごとに開催していた卒業研究発表会・卒業展を統合して、年に1度のアカデミックイベントとして学部をあげて実施することで、卒業研究・卒業制作を環境情報学部全員で力をあわせて盛り上げようというものです。

四環展25では、口頭やポスターによる研究発表に加え、スタジオでの制作コンテンツ展示や映像作品上映会など、環境情報学部学生の活動成果が発表されました。四環展25の運営は黒田学部長補佐の指導のもと環境情報学部3年生が行いました。四環展25開催期間中は、喜岡学長をはじめ、教職員、学生、地域の方などたくさんの来場者があり、大盛況となりました。

四日市大学は(独)大学改革支援・学位授与機構「大学・高専機能強化支援事業」に選定され、デジタル・グリーン分野の人材を育成する環境情報工学部を開設する準備を進めています。

環境情報学部では四環展をはじめとしてこれからもデジタル・グリーン・メディアの領域融合を目指した取り組みを進めていく予定です。



四日市看護医療大学

学生会主催のお菓子つかみイベント



学生会では毎年の恒例行事として、お菓子つかみイベントを開催しています。このイベントでは箱の中に入ったお菓子を片手でつかみ、外につかみ出せた分だけ持って帰ることができます。さらに、お菓子の中には『当たり』の印がランダムで入っており、印付きのお菓子をつかむと追加で景品がもらえます。

今年度は12月18日(水)に開催しました。昨年のルールに加えて『大当たり』も追加され、『当たり』はジュース、『大当たり』は大きなお菓子がもらえるように工夫しました。

1年生のメンバーが初めて主催するイベントということもあり、緊張もあったかと思いますが、各々楽しそうに運営していました。また、本学の学生なら誰でも参加可能なイベントのため、開催場所には行列がでる大盛況でした。感染症対策も含めて混雑を防ぐために、学科・学年ごとに会場を分けて行いました。会場では途中でお菓子が足りなくなり、別会場から補充するほど賑わいが見られました。当たりと大当たりを付けたことによりさらに盛り上がり、学生会にとっても学生にとっても楽し

いイベントとなったかと思えます。

日々学業に力を注いでいる学生たちに少しでも息抜きをしてもらうために、この先も続けていきたいと思えます。

暁高等学校

カナダうまれの「ピンクシャツデー」

～11月16日生徒会の取り組み～

ピンクシャツデーは、ピンクシャツを着たりピンク色のものを身につけることで「いじめ反対」の意思表示をする日です。こどもから大人まで誰もが参加することのできるシンプルなポジティブキャンペーンです。現在は約180の国や地域に広がり世界的キャンペーンの一つとなっています。

暁高校としても、生徒会が主体となり「いじめ反対」の意思表示として、11月16日(土)にこの運動に参加しました。三重県のいじめ防止強化月間である11月にこの活動を行うことにより、本来2月に行われている世界的な運動についての理解と興味を持ってもらえるように企画しました。世界中からいじめが無くなることを願って、当日は生徒と教職員がピンク色のリストバンドを付けて半日過ごしました。



暁高校2年 大西真央さんのデザインがバッジに

～令和6年度 三重の赤い羽根共同募金バッジデザイン～



社会福祉法人三重県共同募金会が三重の赤い羽根共同募金バッジデザインの募集を行い、暁高校2年大西真央さんが『三重の赤い羽根賞』を受賞し、10月29日(火)に開催された令和6年度三重県社会福祉大会において表彰されました。大西さんの他に、桂川愛矢さんが『三重県教育委員会賞』を、松田明咲さんが『三重県議会議長賞』を、齋藤遼佳さんが『三重県社会福祉協議会長賞』を受賞しました。384作品中、本校から4作品が選ばれる快挙でした。今後も様々なコンクールに応募していきます。



暁中学校・高等学校

起業家精神涵養講座

～最終発表会を開催～

9月末から始まった「起業家精神涵養講座」は12月19日(木)の3・4限目に行われた第8講の最終発表会を持って終了いたしました。

「R(変わろうとしない態度)<D(不満)×V(夢・希望)×F(最初の一步)」という考え方のもと、変化を恐れず挑戦することの大切さを説いて始まった講義の前半では、「好き」を「アイデア」に、「アイデア」を「プラン」に変えていくためのアプローチとして、アイデアの出し方やタネの考え方を学びました。

また、第5講では起業家の株式会社TOMUSHIの石田陽佑さんから、アイデアを形にしていく過程や失敗から得た学びについて講演していただきました。

講義後半は、各チームで作成したマンダラートをもとに、チームでアイデアをまとめていきました。最終の発表会では、テーマ、解決方法、今後自分たちが実現のためにできることについて、発表を行いました。

発表会当日は、本講座を担当していただいたSFCフォーラムの廣川克也氏に加え、本校の卒業生である、株式会社タイガーモブの菊池恵理子氏、株式会社藤乃森の藤戸淳夫氏をコメンテーターとしてお招きしました。3氏からは、発表会全体において、高校生ならではのユニークな視点や発想が多く、大人では思いつかないようなアイデアもあり、とても感心をさせられたという講評もいただきました。

各チームは、うまくいった点や成果に加え、頂いたコメントをもとに反省点や考えが及ばなかったところにも気づくことができ、さらに考えが深まったと思います。

生徒たちは、この講座を通じて、発想力や創造力、課題解決能力、コミュニケーション力、チームワークなどを身につけるための大きな一歩を踏み出したのではないのでしょうか。



起業家精神涵養講座 実施内容

第1～2講 アントレプレナーシップとは何か

第3～4講 アイデア創出ワークショップ

第5講 起業家講演、ディスカッション

第6講 アイデア創出ワークショップ

第7講 事前相談、メンタリング

第8講 最終発表会

暁小学校

人権特別授業

暁小学校では、人権教育目標を「自他の人権を尊重し合い、差別や偏見を許さず、問題の解決に向けて行動できる子どもの育成」と掲げ、子ども達への人権教育を行っています。人権学習は算数や国語といった教科の授業のみならず、日々の生活全体を通して行っています。また、四日市人権擁護委員協議会などから講師をお招きし、それぞれの学年で人権特別授業を行っています。具体的には、男女平等やいじめ、LGBTQ等について学習します。継続的・系統的な学習を通して、子ども達の人権感覚を育みます。



職員研修〈公開授業〉



教員の授業力向上のため、定期的に職員研修を行っています。今年度は研究主題を『「主体的・対話的で深い学びの実現を目指して」“きき合う授業”(聞く・聴く・訊く)からの“深い学び”へ』とし、研修部が中心となり職員研修を進めています。その一環として、教員全員が研修テーマに沿った公開授業を必ず行います。また、年に3回は全教員が参観する公開授業を行います。授業後は、参観した教員が集まり振り返り

を行います。職員研修を積極的に進めることで、教員の授業力と児童の学力の向上に繋がってきたいと考えています。

暁幼稚園



お楽しみ抽選会

1月8日から3学期が始まりました。寒い中でしたが、多くの子どもたちが笑顔で登園してきました。

全員が幼稚園から届いた年賀状を手にしてホールに集まりました。始業式では、冬休み中、全員が大きながも事故もなく元気に過ごすことができたこと、3学期は次の学年に上がるために準備をする大切な時期であることを確認しました。式のあとは、いよいよ子どもたちが楽しみにしている「お楽しみ抽選会」の始まりです。

どの子も自分の年賀状に書かれている番号が呼ばれるのかな?とドキドキしながら待っていました。番号が呼ばれるたびに「よっしゃー!」という声や「あ～あ」というため息まじりの声などがあちらこちらから聞こえてきました。ステージの前には、子どもたちの好きそうなキャラクターのノートやシール、色鉛筆、折り紙、サインペン、定規、消しゴムなどいろいろなものが並べてあります。自分の番号を呼ばれた子から前に出てきて欲しいものを選びます。あまりにも多くのものが並んでいるので、どれにしようかな・・・と迷いながらなかなか決められない子や好きなキャラクターのものを選ぶ子、友達と同じものを選んで一緒だねと見せ合う子など、様々な様子が見られました。お正月のお年玉のように、どの子も自分の選んだものを大事そうに握りしめ、最後に「雪」の歌を全員で歌ってそれぞれの部屋に戻っていきました。



親子で邦楽コンサート

新年1月11日(土)に、日本の伝統的な和楽器「箏」の演奏会「親子で邦楽コンサート」を開催しました。演奏してくださったのは、生田流箏曲麗明社 大師範 麗明智翔先生と、そのお弟子さんたちでつくられている「音羽会」の皆様です。麗明先生は、「心に響く和の音色」を皆さんに届けたいと、三重県を中心に東京方面や名古屋などの東海地方など日本各地で演奏活動を行ってまいります。

1曲目は、新春と言えば必ずと言ってよいほど聴かれる曲「春の海」を演奏していただきました。お正月、テレビを見たりデパートやショッピングセンターを歩いたりしていると、どこからとなく聞こえてきます。ただ、あの曲のあの音色が、目の前に置かれている「箏」の音であるということを知らなかった子もいたようで、箏の音色と箏という楽器が自分の中ではじめてつながったという子もいました。

そのほかにも、「さくらさくら」「ドレミの歌」やアニメソング「アイドル」「アンパンマン」「さんぽ」など、子どもたちに馴染みのある曲を数多く演奏していただきました。また、途中で箏についてのクイズを出していただき「箏」という楽器について詳しく教えてもらったり、体験コーナーを設けてもらったりと、短い時間でしたが、和の文化に浸ることができました。参加された保護者の方からは、「心が癒されました」「また、来年もぜひ聴かせてください」などのお声をいただきました。

最後に、子どもたちから感謝の気持ちを込めて花束をお贈りしていただきました。



クラブ活動報告

暁中学校では、クラブ活動が盛んに行われ、どのクラブも様々な大会において健闘しています。本年度、優秀な成績を収めたクラブをご紹介します。

硬式テニス

【三重県中学生春季テニス選手権大会】

- 女子ダブルス 優勝(齋木望愛)
- 女子ダブルス ベスト8(川合瑠子/中城凜子/中山こころ)
- 男子ダブルス ベスト8(永井伶)
- 女子シングルス 3位(齋木望愛)

【U15全国選抜Jr大会 三重県予選】

- 女子シングルス 8位/東海大会出場(齋木望愛)

【東海中日ジュニア選手権大会】

- U12男子ダブルス 4位/全国大会出場(尾崎椎名)

【東海中日ジュニア選手権大会 三重県予選】

- U16男子シングルス 5位/東海大会出場(永井伶)
- U12男子シングルス 3位/東海大会出場(尾崎椎名)
- U12女子シングルス 7位/東海大会出場(岸田せい)
- U12男子ダブルス 3位/東海大会出場(尾崎椎名)
- U12女子ダブルス 準優勝(岸田せい)

【U15全国選抜Jr大会 ダブルス 三重県予選】

- 男子 ベスト8(永井伶)
- 女子 ベスト8(齋木望愛/岸田せい)

【三重県中学校総合体育大会テニス大会】

- 男子シングルス 3位/東海大会出場(永井伶)
- 女子シングルス ベスト8/東海大会出場(齋木望愛)
- 女子ダブルス 6位(中城凜子/岸田せい)

【東海ジュニアテニストーナメント三重県予選】

- 女子ダブルス 4位/東海大会出場(岸田せい)

【第10回三重県私立中学校テニス大会】

- 男子団体 優勝/東海私立中学校テニス大会出場



体操

【令和6年度三四地区中学校新人大大会体操競技大会】

- 女子個人総合 優勝(内田楓花)/準優勝(近藤美緑)/3位(黒崎穂佳)
- 跳馬 優勝(内田楓花)/2位(近藤美緑)/3位(黒崎穂佳)
- 鉄棒 優勝(内田楓花)/2位(近藤美緑)/3位(八重優依夏)
- 平均台 優勝(近藤美緑)/2位(永井ひかる)/3位(黒崎穂佳)
- ゆか 優勝(内田楓花)/2位(近藤美緑)/3位(永井ひかる)

水泳

【第77回三重県中学校体育大会水泳競技大会】

- 男子自由形400m 1位(岩本爽甫) ●男子自由形200m 2位(岩本爽甫)
- 男子平泳ぎ200m 8位(伊藤陽向大) ●男子平泳ぎ100m 8位(伊藤陽向大)

【第76回三重県中学校学年別水泳競技大会】

- 3年男子平泳ぎ100m 3位(伊藤陽向大) ●3年男子平泳ぎ50m 5位(伊藤陽向大)

吹奏楽

【令和6年三重県吹奏楽コンクール】

- 高等学校S編成の部 優秀賞



競技かるた

【第12回全国競技かるた大垣大会】 ●優勝(山田明奈)

【第26回中学生選手権大会】 ●4位(中辻初菜)

【第26回三重県小倉百人一首かるた中高生大会】 ●優勝(山田明奈)／3位(中辻初菜)

【第35回東員百人一首かるた大会】 ●一般の部 準優勝(笹之内妃音)

【第21回小倉百人一首交流フェスティバル】 ●有段者C級の部 3位(山田明奈)

将棋

【第27回中日新聞社盾争奪将棋名人戦】 ●D級 優勝(田中遥己)

合唱

【第91回NHK全国学校音楽コンクール】 ●銀賞

【第64回三重県合唱コンクール】 ●銀賞



その他

【中学生スピーチコンテスト“THE BENRON”】 ●男子 審査員特別賞(岩田周真)

【中学生のメッセージ三重県大会】 ●女子 四日市地区優秀賞(鈴木彩希／藤田麻央)

【全国書写能力検定】 ●総合 第1位 文字文化大賞(水谷明彩)

【高円宮杯第76回全日本中学校英語弁論大会(三重県大会)】

- 弁論の部 優秀賞(蛭原京美) ●暗唱の部 優秀賞(四ツ谷奏音)

【第62回JA共済小・中学生書道コンクール書道】

- 半紙の部 金賞／三重県知事賞(水谷明彩)

【令和6年度「税についての作文」】

- 四日市税務推進協議会長賞(太田琉晴) ●四日市税務署長賞(式井駿太／藤本苺英)
- 三四地区納税貯蓄組合連合会長賞(石垣凜乃)
- 東海税務連絡協議会会長賞(加藤あおい)

式典のお知らせ

●卒業(園)式

校種	日時	場所
四日市大学	3月15日(土) 13:30～	都ホテル四日市
四日市看護医療大学	3月10日(月) 10:00～	都ホテル四日市
暁高等学校(3年制)	2月28日(金) 10:00～	高校体育館
暁高等学校(6年制)	3月 1日(土) 10:00～	中高体育館
暁中学校	3月19日(水) 9:30～	中高体育館
暁小学校	3月11日(火) 10:00～	暁小学校体育館
暁幼稚園	3月18日(火) 10:00～	暁幼稚園ホール

●入学(園)式

校種	日時	場所
四日市大学	4月 3日(木) 13:30～	四日市市文化会館
四日市看護医療大学	4月 2日(水) 10:00～	四日市大学3号館
暁高等学校(3年制)	4月 9日(水) 10:00～	高校体育館
暁高等学校(6年制)	4月 8日(火) 10:00～	中高体育館
暁中学校	4月 8日(火) 13:30～	中高体育館
暁小学校	4月 7日(月) 10:00～	暁小学校体育館
暁幼稚園	4月10日(木) 10:00～	暁幼稚園ホール



[学園報 春号 vol.260]

発行日 / 2025年2月21日

発行 / 学校法人暁学園

〒512-8538 四日市市萱生町238 TEL 059-337-2345

学園HP / <https://www.akatsuki.ed.jp>



暁学園公式キャラクター
アルバちゃん